



町花：山百合

議会だより

6 月定例会

No.172

古殿町議会

令和7年7月18日発行

令和7年度国保税率は据え置き	2
一般質問：町づくりなど7議員が13問	7
追跡レポート：人間・脳ドックの対象年齢拡大は	15
まちの企業紹介：株式会社 佐川林業	16



みんなで力を合わせて綱引き！
(5月18日 古殿小学校大運動会)

6月定例会

議案審議

6月定例会は6月13日から19日まで、7日間の会期で開催されました。古殿町国民健康保険税条例の一部改正や専決処分の承認が4件、一般会計第1次補正予算などの7議案が原案の通り可決されました。



18日の一般質問には多くの傍聴者をお迎えしました

令和7年度分以降の国民健康保険税についての課税限度額の引き上げ、軽減基準額を改正するもの。

国民健康保険税率は据え置き 国民健康保険税条例の一部改正

課税限度額の引き上げ

Q 課税限度額の改正は介護分以外の医療分、後期高齢者支援分それぞれ引き上げるのか。

A お見込みのとおり。

Q 軽減基準額が引き上がると、軽減率が増えるということか。

A 軽減対象世帯は増えるの見込まれる。

Q 保険税は昨年度より値上げになるのか。

A 値上げにはならない。保険税率は据え置き。

課税限度額の改正

保険税区分	課税限度額		対象者
	改正前	改正後	
医療分	65万円	66万円	全被保険者
支援分	24万円	26万円	全被保険者
介護分	17万円	17万円	40～64歳

調整給付金などの補正予算

一般会計第1次補正予算

Q 定額減税対象外の方に対する給付である調整給付金※934万円の対象者は何人か。

A 実数はまだ確定していないが、これから所得を確認して該当する方の申請を受け付ける状況。1人当たり最大4万円なので、二百数十人を計上した。

Q 福島県ICTスマート捕獲推進事業補助金25万円の内容は。

A イノシシなど鳥獣被害対策の県の補助金で、センサーカメラ5台を購入し、捕獲隊の方に貸して状況を確認してもらう。

Q 小中学校の熱中症対策での補正はないのか。

A 中学校の体育館にはエアコンがないため、大型扇風機を2台購入して設置した。

Q 町民憩いの森公園の芝の管理で利用者困っている。どのくらいの頻度で芝刈りしているのか。

A 2週間に1度実施している。

※調整給付金（不足額給付）…令和6年度に実施した定額減税しきれない方への給付金。当初の算定では令和5年所得等を基準に算定したため、令和6年分所得税と定額減税の実績額等が確定したのちに、本来給付すべき額と、当初調整給付額との間で差額が生じた方に、その差額を支給するもの

継続事業

町道越代熊倉線工事 2億3,083万円



越代熊倉線の改良予定地

町道改良工事

道路の幅を広げる

Point

○株式会社佐川建設（古殿町）と締結。
○指名競争入札を実施。



質疑

Q 工事の内容は。

A 県道から入って308メートルの道路改良工事。河川工事でブロックを積み、現在の幅員を広げる。

加えて県道から入った橋の改修は26・9メートルで、ボックスカルバートを埋設するもの。

Q 町道越代熊倉線改良工事全体の何%くらい終わっているのか。

A 令和7年度事業終了を見込むと改良率が56・7%となる。

Q この路線工事の累計額は。

A この契約を含め8億2000万円。最初は2000万円くらいで実施していたので、経費率が大きいと認識している。事業費の見直しと全体事業費の把握を考えている。

Point

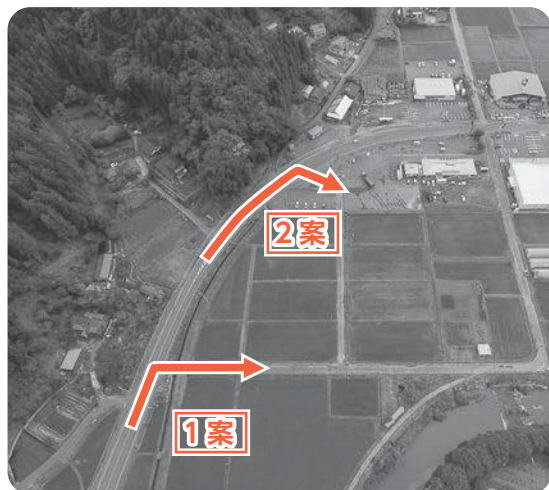
1案

町道鍋作山下線に交差点を設置し、国道349号に右折レーンを設置する。

2案

現存交差点を利用する。国道349号の改良等はない。

議会全員協議会
道の駅の進入路を協議



2つの進入路案

1案 に対する意見

○直角の交差点から進入するため、確認しやすくなる。

○交差点や右折レーンを設置する工事費や用地買収が発生する。

2案 に対する意見

○カーブ途中の進入路は危険。

○道の駅から出る車は1案よりも確認しやすい。安全性は担保される。

○周辺道路の改修が必要ないので効率的な整備が実施できる。

結論

多数の議員が2案を支持したため

2案 既存進入路の方向性となる

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議 案 名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案 第28号	専決処分の承認を求めることについて (古殿町税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	軽自動車税における地方税法の一部改正による改正											
議案 第29号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度古殿町一般会計第8次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業の確定などにより2,638万3,000円を増額する											
議案 第30号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度古殿町国民健康保険特別会計第4次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	保険給付費の確定などにより5,260万5,000円を減額する											
議案 第31号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度古殿町介護保険特別会計第5次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	保険給付費の確定などにより71万8,000円を減額する											
議案 第32号	古殿町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	課税限度額の引き上げと軽減基準額の改正(P2に掲載)											
議案 第33号	古殿町簡易水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	水道法施行規則改正による改正											
議案 第34号	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	南会津地方環境衛生組合の統合による規約の変更											
議案 第35号	令和7年度古殿町一般会計第1次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	調整給付金などにより1,044万1,000円を増額する(P2に掲載)											
議案 第36号	令和7年度古殿町国民健康保険特別会計第1次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	医療納付金の増などにより1,895万6,000円を増額する											
議案 第37号	令和7年度古殿町宅地造成事業特別会計第1次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1区画の販売が見込まれるため375万8,000円を増額する											
議案 第38号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町道越代熊倉線道路改良工事を2億3,083万5,000円で株式会社佐川建設が落札(P3に掲載)											
発議 第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2026年度政府予算等の検討で、積極的な地方財源の確保・充実を図る意見書の提出											
発議 第3号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度も事業を継続するよう要請するもの											

常任委員会の活動

総務常任委員会

進入路の安全性を調査 道の駅ふるどの等を視察

総務常任委員会は道の駅ふるどの、旧田口小学校教員住宅跡地と大作地内のため池の遊休財産2か所を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。

また、付託された請願を審査し、2件を採択としました。



道の駅進入路の現状を視察する議員

意見

- 道の駅の進入路の安全性確保のため精査が必要。盛土工事には旧大原小グラウンドの残土も利用しては。
- 旧田口小教員住宅跡地は賃貸や売却で対応すること。
- 大作地内のため池は災害対応の必要があれば国・県の工事での対応を検討すること。

産業建設常任委員会

遊休財産活用の調査 町の遊休財産11か所を視察

産業建設常任委員会は旧イセ食品跡地や旧大原小学校跡地など町内11か所の遊休財産を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



旧イセ食品跡地の現状を確認する議員

意見

- 旧イセ食品跡地に残された建物を撤去し、更地にするべき。
- 旧大原小跡地は除雪重機等の車庫として使用できないか。
- 旧大原小プール跡地は売却または宅地造成しての販売は。
- 三株展望台登山道以外の土地売却を検討しては。

議会だより編集特別委員会研修

議会活動を知ってもらう編集とは

議会だより編集特別委員会は7月1日に郡山市ビッグパレットふくしまで町村議会広報研修会に参加しました。

福島県町村議会議長会が主催し、一般

社団法人自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏を講師に迎え、伝わりやすい紙面構成についての説明や、9町議会広報の講評を通して紙面づくりを学びました。

【議会広報クリニック※】

※議会だよりを講師の方に内容の評価をしてもらうもの

No. 170 令和7年1月20日発行号

- 住民の方が本当に知りたい記事を強調できているか。
- 委員会活動などに課題や目的を明示する。
- 追跡レポートには具体的な成果も記載する。
- ホームページと連携したQRコードを挿入するとより詳細な情報を得やすい。

⇒ 以上の指摘を踏まえて、より分かりやすい議会だよりを目指します。

▼クリニックを受けたNO.170 表紙



猛暑の中の環境美化活動



草刈り作業に汗を流した議員と町幹部職員

憩いの森公園をきれいに

6月30日に議会議員と役場職員が合同で町民憩いの森公園周辺の草刈りを行いました。

景観がよくなり、利用者の方が気持ちよく使えるようになりました。

一般質問

- ☒ 町民の声を伝える
- ☒ 町政に生かす
- ☒ 町の考えをたずねる

ただ 町政を質す

6月18日、19日に7人の議員が13問の一般質問を行いました。
質疑の一部を要約してお伝えします。

鈴木 隆 議員 8

- (1) 町内企業等に就業や共住されている外国籍の方々の把握について
- (2) わが町の観光資源の今後の展望と課題について
- (3) 健康保険証とマイナンバーカード一体化について

根本 重一 議員 9

- (1) 本町の少子化対策について
- (2) 本町の伝統民俗芸能の継承と振興について

野崎 喜彦 議員 10

- (1) 急激な人口減少と超高齢化社会への対応策について
- (2) 地場産業の振興と活性化の推進について

佐藤 一夫 議員 11

- (1) 今後の林業対策について

木戸 久康 議員 12

- (1) 今後の町づくりと道の駅の進捗状況は

松崎 法通 議員 13

- (1) 災害についての備えと対応を問う
- (2) これまでの名誉町民への対応を問う

岡部 淳一 議員 14

- (1) 人口減少の中で若者定着促進の方向性は
- (2) 国民健康保険内容の目まぐるしい変化への認識と対応

外国籍住民対応

Q 全ての雇用主、
就業内容、居住先
を把握しているか

A おおむね把握している



鈴木 隆 議員

鈴木 町内の方との婚姻や町事業に携わる方を除き何名の外国籍の方々がいるのか。

町長 令和7年5月末で93名。

鈴木 ごみ出しや生活習慣の違い等から町民とのトラブル等はあったか。

町長 以前、ごみの出し方で相談があり、曜日ごと出せるごみの種類等について、当事者の言語で作成したものを、対象ゴミステーションに張り出す対応を行ったことはある。



鈴木 個人情報保護の観点から難しさもあると思うが、どのような管理、把握をしているのか。

町長 今後、増加すると思われる外国籍の方の情報把握については、可能な範囲で検討の余地があると考えている。

鈴木 その把握情報を地区行政区長と共有しているのか。

町長 現在、共有していないが、検討の余地があると考えている。

観光資源対策

Q 各受託団体に対する費用や管理内容等を見直す昨年の答弁からその後の対応は

A 個別に具体的な話し合いはしていないが状況は把握している

鈴木 町のシンボルとも言える「鎌倉岳遊歩道」通行止区間の復旧がまだ行われていないのはなぜか。

町長 以前、修繕を業者に相談したが、困難であると判断され、その後、工法を検討している。

鈴木 魅力ある観光資源を活用しつつ、交流人口、関係人口を様々なイベントで拡大し、移住定住につなげることが地方創生の観点から重要と思



多くの登山客で賑わう鎌倉岳山開き（4月29日）

その他の質問
「健康保険証とマイナンバーカード一体化について」の質問も行いました。

うが、実質的な施策は何と考えるか。

町長 直接、移住定住につながることは難しいが、交流人口、関係人口拡大につながるものとして、フルドノタイムは重要な施策である。

少子化対策

Q 出生数減少の認識は

A 全国的な傾向の中、過疎地域で目立っていると認識している

根本 「赤ちゃん誕生祝金」実施後の効果は。

町長 赤ちゃん誕生時における、金銭面での支援となっている。

根本 「結婚新生活事業補助金」の拡充予定は。

町長 国の制度を活用し、事業の周知をしている。拡充の予定はないが、今後も国の動向を注視していく。

根本 「入学祝い金」などの教育関連支援についての導入検討は。

町長 給食費の無償化、小中学生の学習旅行バス代全額補助、2泊3日の英語体験研修補助等を実施しており、新たな支援は考えていない。

根本 通学補助など、子育て家庭に対する経済的支援の拡充は。

町長 拡充予定はない。

根本 若年層の定住促進に向けた住宅取得支援は。

町長 住宅支援として「移住定住促進補助金」、「町産材利用住宅建築支援事業補助金」を活用し、町外からの転入者には加算措置をする。

根本 他町村と連携した広域的な少子化対策は。

町長 婚活イベントを5町村で取り組んでいる。

根本 ジェンダーギャップと若い女性流出の認識



ねもと しげかず
根本 重一 議員



赤ちゃんのすこやかな成長を願って

根本 「とも家事」の認識は。

町長 世代により考え方の違いがある。時代の変化を認識し、互いの理解が進めばよいと考える。

伝統芸能

Q 民俗芸能の継承は

A 少子高齢化や若者の減少等で伝統継承が難しい



民俗文化財の馬場平のジャンガラ念仏

根本 担い手の育成策や支援制度の検討は。

町長 民俗芸能は各地区や集落で継承されていることから、検討はしていない。

根本 民俗芸能団体への助成金や支援制度の拡充は。

町長 町指定文化財保存伝承報償として支援。令和3年度に見直しをしたので、拡充予定はない。

根本 民俗芸能の映像・資料のアーカイブ化や記録保存方針は。

町長 町指定文化財保存伝承報償として支援。令和3年度に見直しをしたので、拡充予定はない。

根本 今ある姿を後世に伝えることは大切である。

根本 民俗芸能を観光コンテンツとして町内観光と結びつける考えは。

町長 町のホームページで「論田・ハケ久保薄木の獅子舞」「馬場平のジャンガラ念仏」を紹介している。町外・県外からも写真撮影等にいらしている状況だ。

Q 急激な人口減少と 超高齢化社会の対応策は

少子高齢化対策

A 生まれた子どもは11名 緊急通報システムを81世帯に設置



高齢者世帯に設置されている
緊急通報システム

野崎 「買い物支援」などの日
「配食」「見守り」、
孤独死の実態把握は。
町長 現実的に発生している。緊急通報システムの利用促進や郵便局、宅配事業者と協定を結び、連絡体制を取っている。
野崎 出生数と転入・転出者数の現状は。
町長 令和6年度に生まれた子どもは11名。転入者は68名、転出者は116名だった。



のぞき よしひこ 議員

常生活支援の実態は。
町長 ボランティア、民生委員の協力で支援を行っている。
野崎 「緊急通報システム」の設置と稼働状況は。
町長 81世帯に設置。週に一度電話で安否確認をしている。

野崎 「高齢者居住施設」の利用状況は。
町長 3世帯、3人が利用している。

Q 地場産業の振興と活性化の推進は

産業振興

A 道の駅は基本設計、実施設計委託を予定している

野崎 令和7年産の米の作付面積と収量見込みは。
町長 主食用米の取組面積が233ヘクタール、収量は約1160トンの見込み。
野崎 「地域計画」はどの整理されたのか。
町長 どの地区でも、担い手の高齢化と後継者不足が課題だ。将来的には農地の集積、集約化を段階的に進めていく。
野崎 道の駅の売り場で、地場産品の品目、数量とも減少傾向にあるよ
野崎 うだが、その対応策は。
町長 農産物出荷者協議会主催の栽培講習会や先進地視察研修の実施で、知識の向上、生産意欲の向上に努めている。
野崎 道の駅拡張計画の進捗はどの段階にあるのか。
町長 敷地の造成工事の発注を行った。6月中旬に基本設計と実施設計委託の発注を予定している。
野崎 出店を希望する方の意向調査も実施する。



順調に育成する水稻



さとう かずお
佐藤 一夫 議員

**Q 皆伐のみでも
補助金対象としては**

**A 皆伐後は植林が義務で
補助はしていない**

町の財産である森林の
荒廃を防ぎ、経済効果や
環境保全の観点から質問
する。



憩いの森公園の豊かな森林（ドローン撮影）

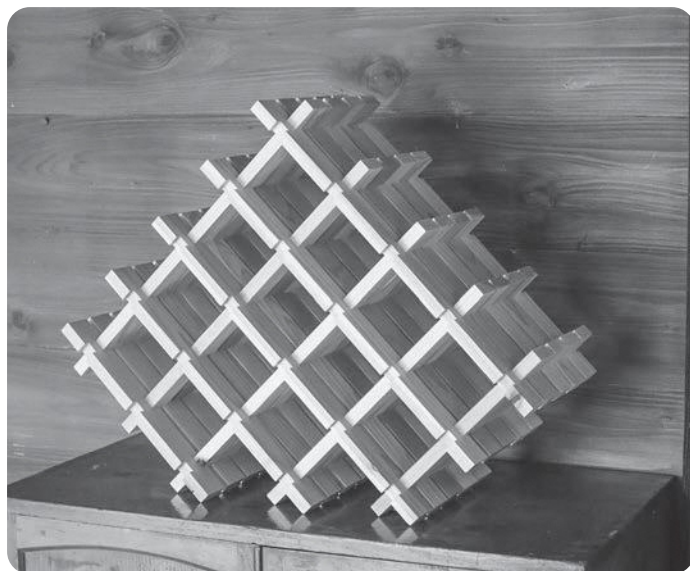
町長 森林整備を担う
事業者については、新た
に起業し、事業を拡大し
ている方がいる一方、一
人親方などの高齢化も進

佐藤 千年の森育成事
業の成果と評価は。
町長 平成13年度から
取り組み、累計で約
1600ヘクタールの間
伐を実施した。

んでいる状況がある。
後継者が町内におら
ず、管理、整備されない
山林が増えることも予想
され、対応が課題になっ
てくる。
佐藤 県が実施している
森林経営管理制度はどの
ようなものか。町の対応
は。
町長 手入れの行き届
いていない森林につい

て、町が森林所有者から
経営管理の委託を受け、
林業経営に適した森林は
地域の林業経営者に再委
託するとともに、森林経
営に適さない森林は町が
公的に管理する制度。町
内3地区で意向調査を実
施した。
佐藤 皆伐された山林
を見かけるが、補助金対
象にできないか。

町長 皆伐後は植林が
義務となっており、補助
はしていない。
佐藤 町内にパイオ発
電事業者があり、チップ
需要が高まっている。民
間事業者とタイアップし
たチップ工場の建設は。
町長 民間事業者への
働きかけを行っている。



くでじゅう
ふるさと納税で人気の間伐材を利用した組手什

Q 道の駅の進捗状況は

町づくり

A 敷地造成工事の発注を行った 出店希望者の意向調査も実施する考え



きど ひさやす 議員
木戸 久康

町長も6期目がスタートして2年が経った。予算も厳しく、物価、資材の高騰もあるが、ソフト面、ハード面でバランスのよい町政をして、町民に少しでも幸せを感じていただけるようにしなければならぬ。

特に5年後、10年後を見据えて優秀な人材を育てることが、町づくりの基本である。

町長と議会は二元代表制であり、どちらにも強力な権限が与えられているが、事案によっては非常に悩み、苦悩、苦渋の選択が求められる。



町の将来に大事なひとづくり

木戸 5期目と6期目の就任挨拶に「ひとづくり」「くらしづくり」「まちづくり」「産業づくり」「体制づくり」とあるが、具体的にどのような内容か。

町長 社会情勢や経済情勢の変化を踏まえるとともに、行政が取り組む

べき課題等は常に流動的であることから、古殿町第7次振興計画に掲げている町の将来像「みんながいつも元気であられる活気あふれる町」を目指すべく、柔軟な組織体制をもって各分野に適した事業を実施する考えである。

木戸 5期目から現在まで土地買収で議会の議決を得た件数および場所は。

町長 田口の道の駅ふるどの拡張事業用地、鎌田の旧イセ食品工場跡地、三株山頂への道路等用地の3件。

木戸 道の駅の進捗状況

況はどうなっているのか。

町長 敷地の造成工事は先日発注を行ったところであり、更に今月中に基本設計および実施設計委託の発注を予定している。

出店を希望する方の意向調査も実施する考えである。



基本設計が発注された道の駅

災害対策

Q 災害についての 備えと対応を問う

A 他町村との災害時協定を締結 河川改修や堆砂除去は県に要望



まつざき のりみち
松崎 法通 議員

松崎 規模の大きな災害が発生した場合、自治体の域を越えた対策が必要だが、その点は万全か。

町長 石川郡内町村、鮫川村、いわき市と災害時相互応援協定を、こおりやま広域連携中枢都市圏で連携協約を、岩手県紫波町と相互応援に関する協定を締結している。

松崎 令和元年の台風19号で冠水した前木・水沼地区周辺の河川改修を県にどのように要望しているのか。

町長 県土木部出先機関との意見交換会で、前木地区は河川改修事業、水沼地区は道路整備事業を要望している。



堆砂に雑草が生い茂る鮫川

松崎 毎年河川の堆砂除去をしているが、竹貫地区から横川地区周辺の除去はどのように考えているのか。

町長 町から県へ要望し、事業を進めていたが、

松崎 災害時、医療、土木関係者をはじめ、人手の確保は考えているのか。

町長 県中保健福祉事務所、石川郡医師会で医療を確保し、町建設協力会と災害対応に当たり、炊き出しなどは赤十字奉仕団や災害ボランティアの方々を想定している。

名誉町民

Q これまでの名誉町民への対応は

A ふるさとセンターの展示室などで功績を紹介している



ふるさとセンターの名誉町民コーナー

松崎 名誉町民に推薦された方々は、どのような功績があり推薦されたのか。

町長 社会文化の振興や社会福祉の増進、学術文化進展の功績など。

松崎 名誉町民に推薦された方々に対し、その後どのように対応してきたのか。

町長 ふるさとセンターの展示室の名誉町民コーナー

ナーで紹介し、「ビジネス版ふるさとの歴史」等で功績を紹介している。

松崎 名誉町民として推薦された方々を町内外の人たちに知ってもらおうべきと思うが、どのように考えているのか。

町長 機会を捉えて紹介したいと考える。

Q 人口減少対策に打つべき策はあるか

人口減少対策

A 地場産業の魅力化や福祉サービスの充実、生活利便性の向上などに努める

- 現状の若者の動向をどう捉え対応すべきなのか、今後の取り組みを伺う。**
- 岡部** 若者や女性が県外に流出している認識は。県外に流出していることは認識している。
- 町長** なぜ都市部に流出するのか。その原因は。多様な機会と便利な生活環境が魅力と考える。
- 岡部** 教育費の負担軽減策は何か。赤ちゃん誕生祝い金、保育料・給食費無料化など、出生から中学生まで子育て・教育支援を継続しており、その後の教育費支援につながっていく。
- 町長** 移住定住施策は何か。住宅を取得する子育て世帯への「移住定住促進補助金」や「町産材利用住宅建築支援」などがある。
- 岡部** 企業案内、紹介、斡旋等の取り組みは。石川管内で「企業合同説明会」が開催予定。
- 町長** 町出身者、若者の起業への支援策は。県と連携し、石川方部商工会の支援をサポートする。
- 岡部** 人口減少対策は。生活利便性の向上に努める。



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員



おとうさんと一緒
(ふるどのこども園解放日)

国保政策

Q 県内で進められている国保平準化とは

A 県内市町村で同じ保険税負担となる

- 国民健康保険のマイナンバーカードや資格確認書などについて伺う。**
- 岡部** 国保平準化とは、どんな内容なのか。所得水準、世帯構成が同じ場合、県内どこでも同じ保険税になること。
- 岡部** 県内同一保険料でわが町は上がるのか、下がるのか。令和11年度からなので、現時点では分からない。
- 岡部** 上がった場合の負担は町民の負担なのか。紙の保険証継続の声も大きい。認識は。私は聞いていない。
- 町長** 保険税が上げれば被保険者の負担と考える。
- 岡部** マイナンバーカードを取得していない人の資格確認書とはどんなものか。従来の保険証に代わるものです。
- 町長** 従来の保険証に代わるものです。
- 岡部** 資格確認書はどんな手順で発行されるのか。自動更新となり、更新の時期が来たら世帯主宛てに送付する。
- 岡部** 税金滞納者に対する対応はこれまででしょうか。短期証が廃止されたので、資格確認書を発行している。



保険証の代わりにマイナンバーカードで
マイナ受付

保険証の代わりとなった
マイナンバーカード

追跡レポート

その後 どうなった?

テーマ 人間・脳ドックの対象年齢拡大は

Q 令和6年12月一般質問から

人間・脳ドックの対象年齢枠を70歳前半まで拡大することはできないか。

A 町長答弁

医療機関から要請のあった受入人数、予算面から設けてきたが、状況を精査し検討する。

病気の早期発見が健康につながるね!



しみもっちゃん

平成27年の
中学生議会で誕生!

その後の
対応

これからの健康増進に期待 74歳まで対象者が拡大

40歳から69歳までだった人間・脳ドックの対象年齢が、令和7年度より74歳までとなった。



健康への意識を高める健診

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

9月 上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町

検索

町議会へ

まちの企業紹介

No.20

今回紹介するのは、「株式会社 佐川林業」の皆さんです。

*会社の設立を教えてください。

昭和38年松川字ハケ久保北向で創業。

昭和64年に法人化し、2代目佐川吉一を先頭に、今日に至るまで一貫して造園緑化、土木資材の供給に努めています。

社員は40人ほど雇用しており、町産材を活用して、地元の経済や林業に貢献しています。



販売している土木資材

*会社における基本的な考え方は何ですか。

優良資材として木の加工、卸し、施工に努めます。

人造資材を含めて様々な資材が氾濫する中、木の温かみを大事にしてくださる皆様、そして地域の皆様に支えられて前進してまいりました。新素材などの積極導入にも取り組みつつ、優良資材としての木の加工、卸し、施工に努めていきます。



株式会社 佐川林業の皆さん

議会だより

編集特別委員会

委員長

野崎

喜彦

副委員長

鈴木

隆

委員

根本

重一

委員

根本

太郎兵衛

委員

松崎

法通

編集後記

議会トピックスでも紹介した「鎌倉岳山開き」は、1989年に結成された鎌倉岳観光協会により継続開催されていたが、諸般の事情により同協会による開催は本年度最後となった。鎌倉岳は福島テレビ開局35周年を記念して、三春町の世界的な登山家、故田部井淳子氏を選定委員長とした「うつくしま百名山」にも選ばれ、町内外の多くの人に愛されている名山でもある。

また、交流人口拡大の観点からも同山の維持管理は必須であると考えられる。永年維持管理に努められた会員の皆様に敬意と感謝を申し上げる。後継団体模索中であると聞かれることから今後の展開に期待したい。(鈴木)